



一之江名主屋敷にて

新春さわやかトーク

江戸の学びと共育を語る

市川寛明さん ◆ 多田区長

(江戸東京博物館学芸員)

江戸の面影を伝える一之江名主屋敷

司会 あけましておめでとうございます。
区長・市川 おめでとうございます。
司会 さて本日は、江戸東京博物館で学芸員をされている市川寛明先生をお招きしています。先生、どうぞよろしくお願いたします。
市川 よろしくお願いたします。
司会 市川先生は、江戸東京博物館で普段どのようなお仕事をされているのですか。
市川 江戸東京博物館は、江戸時代以降400年の江戸東京の歴史と文化を守り育てて未来へ継承し、また、そこから学び、よりよい東京の未来を考えるために設立された博物館です。私の専門は、近世の都市の歴史と文化です。歴史的な資料の収集や保存、調査・研究を行い、展示・講座などを企画する仕事をしています。

司会 市川先生は、「江戸の学び」という企画展を担当されたと伺っています。本日は、江戸時代の教育について教えていただきたいと思いますが、区長さん、ここ一之江名主屋敷は、先生に当時の話をお聞きするのにふさわしい場所ですね。
区長 この付近は、江戸幕府が開かれた頃に開拓が始まったと聞いています。当時は、「椿」という地名で、今でもその名は残っています。現在、この地の開拓の歴史を調べ、先人たちの努力を明らかにしようと取り組んでいる地域の方々がいます。昨年11月には、椿開拓400年祭という催しを行い、「椿物語」という本を出版されました。一之江名主屋敷は、その椿開拓の象徴であり、江戸川区に残されている貴重な文化財です。

司会 市川先生、一之江名主屋敷をご覧になられていかがですか。
市川 東京の地で江戸中期の安永年間(1772~1780)の建物が残り、しかも、あたかも中世の在地土豪の屋敷のような形を持っている名主の屋敷というのは非常に珍しく、正直驚きました。

区長 この名主屋敷は田島家が所有していますが、一般公開にご協力いただき、非常に多くの方々を訪れています。平成元々5年に解体修理を行い、創建当初の姿に復元しています。また、周囲の屋敷林も、時代とともに新しい種類の木が生えてきましたので、平成11年に本来の姿に戻しました。今では、当時のありのままの姿を偲ぶことができると思います。



(2面へつづく)

江戸を知り、その知恵を 未来へ伝えていきたい



市川 寛明 さん

1964年生まれ。財団法人江戸東京博物館学芸員。社会学博士。「参勤交代」大江戸八百八町などの企画展を担当。また、「図説江戸の学び」「目でわかる江戸時代」などを著作・編集。江戸川区在住。

江戸時代はみんなで助け合って暮らして、地域で子どもを育てていくという考え方が非常に強かったとのことですが、区長さん、江戸川区のすくすくスクールでも、子どもたちが地域のみならずと触れ合いながら貴重な体験をしていますよね。

区長 区内の全小学校で実施していますが、地域の方々の協力により、大変すばらしい成果があがっています。

市川 様々な体験ができ、とても喜んでいますが、親子で地域の方々には大変感謝しています。また、子どもたちのときに他人の世話になり、見守られていることを理解して感謝の気持ちを持つことは、とても大事なことだと思います。

区長 親や先生以外の大人と接することで、子どもたちは、優しさや温かさ、厳しさなどを肌で学び、地域の方々から愛されていることがわかると思います。

市川 市川先生は、子育てのことを考えて江戸川区



寺子屋は制度ではありませんが、しかし事実上、義務教育的なものが確立していました。当時のイギリ

区長 「読み・書き・そろばん」といった勉強も大切ですが、子どもたちが、人としてしっかりとした生き方を身につけていかなければなりません。そのためにはしつけをはじめとして、様々な教育があったと思います。当時も地域全体で子どもたちを育てていくことを考えていたのではないのでしょうか。

市川 現代と江戸時代が大きく違う点は、江戸時代はあらゆる面で人間関係が濃密であることです。家族だけでなく、地域全体が濃密です。その地域の中では、名前の知らない人はいません。他人の子どもも自分の子どもも分け隔てなく、みんなで育てていくと強く考えていました。

区長 そのような関係でない区、地域社会がうまく機能しなかったというところでしょ

豊かな人間性を育む すくすくスクール

市川 江戸時代はプライバシーという考え方もなく、人と人、家と家、仕事と生活の間の垣根が低い人間関係の中で人は成長し、肌と肌とを寄せ合って生きていた時代です。

区長 小説などを読むと、江戸の長屋は、正に相互扶助の精神ですよ。

市川 当時の人々は、社会の富の全体量は一定で、一人がたくさん儲けたら、その他の人の分が減ると考えていました。自分だけが利益を取ってはいけないという意識が非常に強く、助け合いの精神がないと生きていけないと感じていたようでした。

区長 すばらしいですね。

市川 私は今でも、このような思いが人の心の中に残っていると思います。

区長 そうですね、私も確かにあると思います。



授業料は幾らぐらいたったのですか。

市川 教育の対価としてではなく、先生に感謝するという気

区長 数年前に子どもを狙った犯罪が発生し、子どもの安全への不安が社会的に高まりました。安全を守れるためには、地域で子どもたちを見守っていかなくてはなりません。地域の方々、すくすくスクールで子どもたちと触れ合うことは、地域の連携を深め、子どもたちの安全を守ることもつながると思います。国も江戸川区が始めたすくすくスクールを高く評価し、現在、この取り組みは全国で展開されています。

市川 すくすくスクールの意義を理解し、協力してくださる方が増えています。このすくすくスクールは、地域教育の一つの形であると思います。

市川 私の子どもも、すくすくスクールを利用して遊び、遊べる場所が広がっています。

区長 市川先生のお子さんはすくすくスクールをどう感じていますか。

市川 様々な体験ができ、とても喜んでいますが、親子で地域の方々には大変感謝しています。また、子どもたちのときに他人の世話になり、見守られていることを理解して感謝の気持ちを持つことは、とても大事なことだと思います。

区長 親や先生以外の大人と接することで、子どもたちは、優しさや温かさ、厳しさなどを肌で学び、地域の方々から愛されていることがわかると思います。



市川 寛明 さん

江戸時代は、お金がなくてもほとんどの子どもたちが教育を受けられる社会だったのです。

市川 そうです。親が子どものために教育を受けさせたいと思えば、その機会が開かれました。

区長 やはり、当時の人々も子どもの教育は大切だと思っていたのでしょうか。

市川 江戸初期の17世紀時点では、ヨーロッパも同様ですが、庶民教育はなかなか実現しません。しかし江戸中期になりますと、教育が必要であるという考えが庶民の層まで広がり、どの村にも少なくとも一つは寺子屋があったと考えられています。

市川 江戸時代、多いときには何十倍も推定されています。

市川 多くの人が調査していますが、統計的に確かなものはありません。明治時代に全国的な調査が行われ、記録に残るだけでも約1万6000もの寺子屋の存在が確認されましたが、調査に備わることが多く、実際にはその何十倍もあったと推定されています。

市川 江戸時代、多いときには何十倍も推定されています。

市川 江戸初期の17世紀時点では、ヨーロッパも同様ですが、庶民教育はなかなか実現しません。しかし江戸中期になりますと、教育が必要であるという考えが庶民の層まで広がり、どの村にも少なくとも一つは寺子屋があったと考えられています。

市川 江戸時代、多いときには何十倍も推定されています。

市川 多くの人が調査していますが、統計的に確かなものはありません。明治時代に全国的な調査が行われ、記録に残るだけでも約1万6000もの寺子屋の存在が確認されましたが、調査に備わることが多く、実際にはその何十倍もあったと推定されています。

将来を考える機会となる チャレンジ・ザ・ドリーム

市川 以前、総合レクリエーション公園に遊びに来たときに、江戸川区には多くの公園があることを知りました。しかも、どの公園も子どもたちが見るからに楽しそうに遊んでいるのです。私の子どもも「あの公園に行きたい。車を止めて」と言うので、行ってみたいですね、本当に楽しそう、あつという間に時間が過ぎてしまいました。このことがきっかけで、江戸川区に住むことになりました。住まいの近くには親水公園もあります。本当に江戸川区に来てよかったと思っています。

子どもたちへの思いは不変 健やかな成長をみんなの力で



江戸川区長 多田正見

（一面からつづく）

市川 江戸時代は庶民教育の場として「寺子屋」という広く知られた言葉があります。この絵（右下に掲載）は、寺子屋で子どもたちが学ぶ様子を描いた代表的な資料です。ご覧いただくと、今の学校の風景とかなり違うところがあります。

市川 今、学校の整然と並び、先生の方を全員が見るような形になっています。この絵を見ると、

市川 江戸時代は庶民教育の場として「寺子屋」という広く知られた言葉があります。この絵（右下に掲載）は、寺子屋で子どもたちが学ぶ様子を描いた代表的な資料です。ご覧いただくと、今の学校の風景とかなり違うところがあります。

市川 今、学校の整然と並び、先生の方を全員が見るような形になっています。この絵を見ると、

机の向きがバラバラで、必ずしも先生の方を見ていません。非常におおらかな雰囲気です。

市川 確かに休み時間に見えますね（笑）。でも授業中の絵です。これ以外にも寺子屋を描いた絵が残っていますが、その多くが「これが授業中？」といったものです。このような雰囲気は、すべての寺子屋に共通するものであったと考えられています。

市川 寺子屋で学ぶ子どもたちは、今の小学生くらいで、学ぶ期間も5〜6年が一番多かったと言われています。ただ、今と違い、何歳になったら寺子屋に行くとか、何年間学ぶといった決まりは一切ありませんでした。5歳で行く子もいれば、6歳になってから行く子もいますし、3年でやめてしまったりもあれば、10年間学んでいる子もいました。その実態は非常に多種多様でした。

市川 寺子屋で学ぶ子どもたちは、今の小学生くらいで、学ぶ期間も5〜6年が一番多かったと言われています。ただ、今と違い、何歳になったら寺子屋に行くとか、何年間学ぶといった決まりは一切ありませんでした。5歳で行く子もいれば、6歳になってから行く子もいますし、3年でやめてしまったりもあれば、10年間学んでいる子もいました。その実態は非常に多種多様でした。



たイメージがありますが、実際は反対で、江戸時代の庶民教育には、学習に対する厳しさがなっていたと考えられています。ただし、武士に比べて、町人の自由闊達な学びと少し雰囲気は違っていました。

市川 江戸初期は、僧侶が先生となり、寺に寺子屋が開かれることが多かったようです。

市川 お寺以外にも寺子屋になった場所はあったのですか。

市川 江戸中期以降になると、例えば名主の家や、江戸のような都市であれば、裏長屋に寺子屋ができる場合がありました。裏長屋に寺子屋になったという、今の学校のイメージからは想像しにくく、不思議な感じがしますが、様々な場所にあったのです。

市川 子どもたちを教育したいという先生の思いから自由に寺子屋が開かれたのです。

市川 資格は必要なく、志によって誰でも先生になれましたが、それだけでは子どもは集まりません。特に江戸には多くの寺子屋があったので、競争原理に似たものが働いていたようでした。

市川 寺子屋には教科書のようなものはあつたのですか。また、先生はどのように子どもたちを教えたのですか。

市川 「往來物」と呼ばれる教科書のようなものがありました。様々な種類があり、その教科書をどのように使うかは先生の裁量によりました。将来、商人になる子にはそれに適したものをといったように、子どもに応じて、その必要性を考えながら先生が教科書を決めていました。

市川 裕福な家もそうでない家もあつたと思います。子どもたちは誰でも寺子屋で学べたのですか。

市川 授業料は幾らぐらいたったのですか。

市川 教育の対価としてではなく、先生に感謝するという気



寺子屋の風景（公文教育研究会蔵・一寸子花里画「文学はんだいの宝 末の巻」）

市川 お互いにより影響を受け合いながら、チャレンジ・ザ・ドリームは行われているのですね。

司会 チャレンジ・ザ・ドリームについては「子どもたちが地域とのコミュニケーションを感じながら育っていくことができる素晴らしい事業だ」と「中学生が将来やりたい仕事を探すべききっかけになるように協力したい」となどの意見を、区民のみさんからいただいています。

市川 チャレンジ・ザ・ドリームもまた、多面的な意義を持つ教育プロジェクトであると思います。子どもたちは、仕事の大変さやあいさつの大切さを実感しながら、仕事をする上で何が必要かを考えるときにも、中学2年生という自分の将来を見定める重要な時期に、その機会を得ています。更に、地域のみんなで子どもたちを育てていこうという意識を高め、地域の力が教育に参加する場にもなっていますね。

区長 私は、戦中から戦後間もなくにかけて少年期を過ごしました。その頃は日本も貧しく、中学生にもなると、この家庭も家業を手伝いなさいと言っていました。勉強したい子どもたちも、仕事が優先でした。私も学校の先生から「勉強することも大切ですが、働くことはもっと大切ですよ」と言われたことがあります。

市川 江戸時代に「余力学問」という言葉がありました。「一番すべきことは仕事を一生懸命すること、そうでないと家族を守れないし、親にも孝行できない。学問は余力でやるものだ」という意味で、当時は、この考え方が広く根付いていました。

区長 私の先生が教えてくださったことは、そのようなことだと思えます。現代でも勉強だけでなく、人にとって働くことの意味を最優先に考えていかなければいけないと思います。

市川 将来の職業や自分の夢を考え、それを実現するために何をすべきかがわかると、勉強意欲も高まります。

未来を担う子どもたちのために

地域教育を更に充実

司会 さて、区長さん、これまで話してきた「すくすくスクール」や「チャレンジ・ザ・ドリーム」は、やはり地域の方々の協力と理解、地域力がなければ成り立たない取り組みですね。

区長 正にそのとおりです。地域の方々にご協力を呼びかけて、参加していただけることは喜ばしいことです。これも地域の中に、子どもたちを大事に育てていかなければいけない、りっぱな人に育てていきたいという「共育」の思いがないとできないことです。江戸川区には、その基盤と区民の強い思いがあり、私は大変感謝して

います。

司会 区内では地域のみんなさんが盛り上げてくださる行事やおまつりも数多く行われ、様々な世代の方々が交流する場になっていますね。

区長 そうですね、行事やおまつりでは、大人だけでなく、子どもたちも一緒に楽しんでます。これも、子どもたちのために温かい地域社会をつくっていきましようという気持ちの表れだと思います。

司会 江戸時代のような濃密な人間関係がない現代では、子どもたちが様々な体験のできる機会をつくっていくことが大切だと感じます。

市川 「地域力が大事、地域への参加が大事」と言っても、言葉だけでは実現しないのが現実だと思います。その機会やきっかけを創意工夫をもってみんなで作ったり、小学校や中学校など、様々なところで組み立てていくことが重要だと思います。

司会 区長さん、今後ますます変化の激しい時代を迎えると思いますが、子どもたちの豊かな成長のために、どのように取り組んでいこうと考えていますか。

区長 現在行っている取り組みをより一層発展させながら、子どもたちが地域を愛し、心身ともにたくましく成長していけるように、学校教育をはじめ、地域社会としてあらゆることを行い、みなさんと一緒に子どもたちを育てていきたいと考えています。そして、子どもたちが地域や国、世界で活躍できる人になってもらいたいと思います。江戸時代にも苦しいときがあり、それを乗り越えて今につながっているはずですから、みなで知恵を出し合い、元気を出して、進んでいきたいですね。

司会 江戸川区でお子さんを育てられている市川先生は、どんなことを期待されますか。

市川 子どもの成長において、最近、ボランティア活動が非常に重要視されています。子どもたちが様々なボランティア活動に参加できる機会が更に充実するとういことです。また、私自身も歴史や文化の研究にこれからの励むとともに、それらを活かし、現在、そして未来へつなげるための大切さを子どもたちに伝えていきます。

司会 ますますの発展、ご活躍を期待しています。市川先生、区長さん、本日はありがとうございました。

市川・区長 ありがとうございます。



ます。

司会 区内では地域のみんなさんが盛り上げてくださる行事やおまつりも数多く行われ、様々な世代の方々が交流する場になっていますね。

区長 そうですね、行事やおまつりでは、大人だけでなく、子どもたちも一緒に楽しんでます。これも、子どもたちのために温かい地域社会をつくっていきましようという気持ちの表れだと思います。

司会 江戸時代のような濃密な人間関係がない現代では、子どもたちが様々な体験のできる機会をつくっていくことが大切だと感じます。

市川 「地域力が大事、地域への参加が大事」と言っても、言葉だけでは実現しないのが現実だと思います。その機会やきっかけを創意工夫をもってみんなで作ったり、小学校や中学校など、様々なところで組み立てていくことが重要だと思います。

司会 区長さん、今後ますます変化の激しい時代を迎えると思いますが、子どもたちの豊かな成長のために、どのように取り組んでいこうと考えていますか。

区長 現在行っている取り組みをより一層発展させながら、子どもたちが地域を愛し、心身ともにたくましく成長していけるように、学校教育をはじめ、地域社会としてあらゆることを行い、みなさんと一緒に子どもたちを育てていきたいと考えています。そして、子どもたちが地域や国、世界で活躍できる人になってもらいたいと思います。江戸時代にも苦しいときがあり、それを乗り越えて今につながっているはずですから、みなで知恵を出し合い、元気を出して、進んでいきたいですね。

司会 江戸川区でお子さんを育てられている市川先生は、どんなことを期待されますか。

市川 子どもの成長において、最近、ボランティア活動が非常に重要視されています。子どもたちが様々なボランティア活動に参加できる機会が更に充実するとういことです。また、私自身も歴史や文化の研究にこれからの励むとともに、それらを活かし、現在、そして未来へつなげるための大切さを子どもたちに伝えていきます。

司会 ますますの発展、ご活躍を期待しています。市川先生、区長さん、本日はありがとうございました。

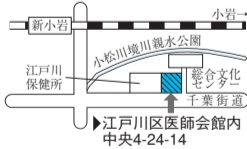
市川・区長 ありがとうございます。

休日急病診療

- 診療時間⇒9時～17時(急病のみ受け付け。往診は不可)
- 外科は救急病院(「平成20・21年度くらしの便利帳」182ページ参照)をご利用ください。
- 当番医(変更になる場合もあります)、医療機関の案内は下記のとこで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
- ▷テレホンセンター=日曜・祝休日9時～17時 ☎(3651)5270 / FAX(3654)4902
- ▷東京消防庁救急相談センター=24時間
 - ・携帯電話・PHS・プッシュ回線⇒☎#7119
 - ・ダイヤル回線⇒☎(3212)2323
- ▷東京都保健医療情報センター「ひまわり」=24時間 ☎(5272)0303 / FAX(5285)8080

江戸川区医師会休日・夜間急病診療所

- 診療科目⇒小児科・内科
- 診療時間⇒①日曜・祝休日9時～17時/②毎日21時～翌朝6時
- 問い合わせ⇒①☎(3655)5151/②☎(3651)5270



休日急病当番医

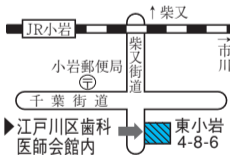
- 1月2日**
- 内小 杉山医院 松島2-28-6 ☎(3653)2022
 - 内小 辰巳内科消化器科クリニック 一之江7-35-22 ☎(5678)5115
 - 内小 西平医院 北小岩3-1-19 ☎(3657)2732
 - 内 北篠崎クリニック 北篠崎2-4-5 ☎(3698)7225
 - 眼 東葛西眼科 東葛西6-2-9 ☎(5605)2641
 - 耳鼻 一しんぞん耳鼻咽喉科医院 西葛西8-12-17 ☎(6411)4133
- 1月3日**
- 内小 船堀内科クリニック 船堀3-7-1 ☎(3869)1773
 - 内小 玉置医院 南小岩3-8-1 ☎(3657)0266
 - 内 渡辺クリニック 南小岩5-20-15 ☎(3657)6284
 - 内 親和クリニック 平井2-24-16 ☎(3684)7150
 - 眼 東葛西眼科 東葛西6-2-9 ☎(5605)2641
 - 耳鼻 一しんぞん耳鼻咽喉科医院 平井3-22-22 ☎(3681)2887

1月4日

- 内 飯塚内科医院 中葛西3-16-6 ☎(3688)0395
- 小 白石医院 東小岩4-33-16 ☎(3657)4501
- 内 とおるクリニック 瑞江2-3-1 ☎(5664)8020
- 内 遠藤内科医院 南小岩6-30-8 ☎(3650)7041
- 眼 東葛西眼科 東葛西6-2-9 ☎(5605)2641
- 耳鼻 一しんぞん耳鼻咽喉科医院 南葛西6-15-14 ☎(5676)4787

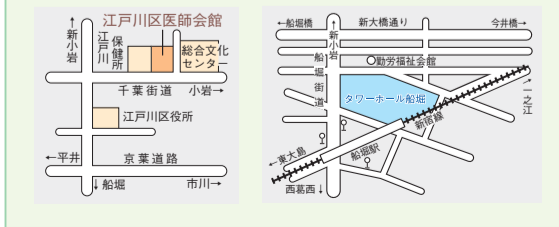
休日歯科応急診療

- 1月2日～4日**
- 診療時間⇒9時～17時
 - 休日専用電話☎(3672)8215に予約のうえ、16時30分までにお越しください。



年末年始 休日急病診療所

- 1月4日(日)までの9時～17時
- 診療科目 小児科・内科
- 場 江戸川区医師会館☎(3655)5151/医師会医療検査センター(タワーホール船堀6階)☎(5676)7799=開設時間内のみ



休日応急当番接(整)骨院

- 施術時間⇒9時～17時
- 1月2日**
- 安藤整骨院 大杉5-6-21 ☎(5678)0678
- なめき接骨院 西葛西5-10-14 ☎(5696)2844
- 1月3日**
- 上一色斉藤接骨院 上一色2-17-2 ☎(3653)6730
- 宇喜田接骨院 宇喜田町1319-2 ☎(3687)5039
- 1月4日**
- 熊谷接骨院 本一色1-4-15 ☎(3651)2933
- おざわ整骨院 南篠崎町3-5-11 ☎(3698)7066

●受診の際は必ず健康保険証などを持参してください。

えどがわ区民ニュース

新春1月号放映中!

豊かな心を育む 地域の力

- ◆CATVで放送中!
 - ・江戸川ケーブルテレビ9チャンネル(☎10時から/18時から/24時から)
 - ・ケーブルビジョン葛西5チャンネル
 - ◆インターネットでもご覧いただけます!
 - ・えどがわ区民ニュース Broad Band <http://www.news.city.edogawa.tokyo.jp/>
 - ◆図書館でもDVD・VHSを貸し出しています
- ☎ 映像広報係☎(5662)6167